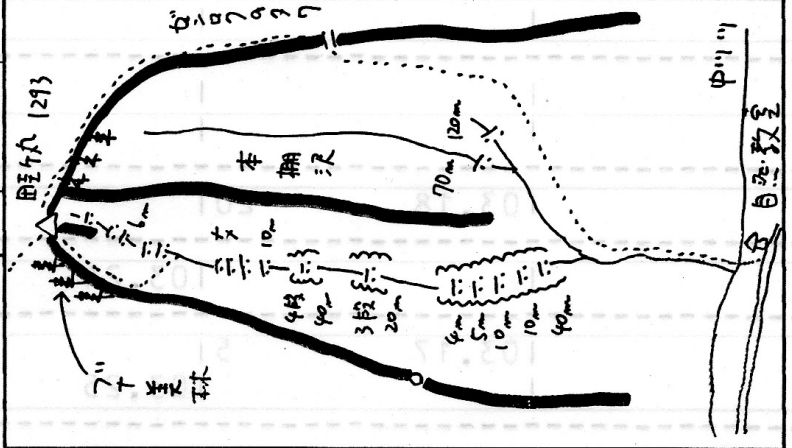


|                 |                    |   |       |
|-----------------|--------------------|---|-------|
|                 |                    | 報告者   | 大沼 千恵 |
| 年月日             | 93・07・10 (土)       |   |       |
| 山行名             | 夏山個人山行             |   |       |
| 山名              | 丹沢・畦ヶ丸 (1293m) 下棚沢 |   |       |
| 標高差             | 自然教室～頂上 = 743m     | 困難度   | 中級    |
| 走行距離            | 三島～自然教室 = 60 Km    |   |       |
| コース<br>及<br>タイム | 7/10 (土)           | 長泉7:00～小山～山北～西丹沢自然教室出発8:25～下棚沢 (しもんたな) 下棚の滝9:10～F610:00～沢終り11:00<br>頂上12:20～13:00～自然教室14:25～15:05～長泉16:20 |       |

参加者・役割分担

|    |      |
|----|------|
| CL | 後藤隆徳 |
|    | 大沼千恵 |



7/10

曇

初めての沢登り。お天気も味方してくれたようで、途中雨がパラついたもののすぐに上がってしまった。R246を北上、丹沢湖に向かって走る。西丹沢自然教室の駐車場まで飛ばす。後藤さん馴染みの、尺八を吹くという管理人（佐藤さん）に挨拶。お茶を御馳走になって出発。溪流タビを履いて川を渡る。水から頭を出している石の上も、川に掛かるはしごの橋も、おかげで滑らない。ちょっと沢を間違えたりして下棚の滝着。突然現れる50mのスッととした美しい滝。しばらく眺めて、巻き道に戻り、いよいよ沢登り。ハーネス、ヘルメットを付け、ザイルを結ぶ。緊張！「初めてだから、無理せず、楽しく行きましょう」という後藤さんの言葉に少し安心する。先に行って、滝の上で確保してくれるので、姿は見えない。さっき見たように、足場を探して、まず1歩。そして2歩・・・ドボン。早くも泳いでしまった。水はそれ程冷たくない。これですっきり開き直る。

途中、岩が脆くて崩れ落ちるところもあった。難しい滝は巻いて、ザイルで下りる。沢の“ノド”“ナメ”“トロ”などの呼び方を教えてもらう。F6を眺めながら休憩。そこから1時間程遡行し、ハーケンのある10mの滝でルートを探すが、コケで滑るので右岸の急登を登りきり、沢を終える。ヤマアジサイ、ヤマボウシの花を眺めながら休む。

運動靴に履き替え、ヤブに入る。沢を少し早く終えたのでヤブが長い。約1時間半。2～3m先の後藤さんの姿がすぐに見えなくなる程深いヤブ。思うように歩けない。上にブナの大木が見えるが長く感じた。「人が通った印」と飴の袋を落とす。これだけなにもないと不安になる。気を取り直し進むと足元に青い洗濯バサミがあった。そしてピニールゴミ。そして何と頂上にドンピシャリ。後藤さんも驚く。

着替えてビールで乾杯。枝豆が美味（三木さんに戴いたもの）。ブナの繁る頂上。展望のない頂上程自然な姿なのだと話しながら弁当・・・(中略)・・・下りはハイキングルートを下り自然教室着。管理人さんのところで、尺八を聞かせてもらった。

(ワープロ 後藤隆徳)